

Canon

EOS-1D X Mark II

EOS-1D X Mark II (G)

有線LAN使用説明書

この使用説明書は、EOS-1D X Mark II のファームウェアが Ver.1.1.0 以上であることを前提に説明しています。



使用説明書

はじめに

有線LAN機能でできること

カメラの有線LAN機能を使用すると、以下のことができます。



FTP転送

FTPサーバーへの画像転送



EOSUtility

EOS Utilityでリモート撮影と
画像の閲覧/取り込み



WFTserver

Webブラウザでリモート撮影と
画像の閲覧/取り込み



Smartphone

スマートフォンでリモート撮影と
画像の閲覧/取り込み



カメラ間時刻同期

同じ機種同士で時刻を同期



章目次

	はじめに	2
1	ネットワークの基本設定	7
2	FTPサーバーへの画像転送	21
3	EOS Utilityでリモート操作	39
4	WFTサーバーでリモート操作	43
5	スマートフォンでリモート操作	59
6	カメラ間時刻同期	67
7	接続の終了と再接続	71
8	接続設定の確認と操作	75
9	トラブルシューティング	87
10	資料	103

目次

はじめに	2
章目次	3
本使用説明書の表記について	6
1 ネットワークの基本設定	7
LAN ケーブルの接続	8
事前準備	9
通信機能の基本設定	12
接続ウィザードを表示する	16
2 FTP サーバーへの画像転送	21
FTP サーバーの接続設定を行う	22
1 枚ずつ転送する	27
まとめて転送する	32
転送された画像を見る	37
3 EOS Utility でリモート操作	39
EOS Utility の接続設定を行う	40
EOS Utility を使う	42
4 WFT サーバーでリモート操作	43
WFT サーバーの接続設定を行う	44
WFT サーバーを表示する	46
画像を閲覧する	49
リモート撮影する [詳細撮影]	51
リモート撮影する [簡易撮影]	56
5 スマートフォンでリモート操作	59
スマートフォンの接続設定を行う	60
スマートフォンでカメラを操作する	62
公開する画像を設定する	64

6	カメラ間時刻同期	67
	時刻を同期させる	68
7	接続の終了と再接続	71
	接続を終了する	72
	再接続する	73
8	接続設定の確認と操作	75
	接続設定画面を表示する	76
	設定を変更する	78
	設定内容の保存と読み込み	82
	機能設定画面について	84
9	トラブルシューティング	87
	エラー表示の対応	88
	故障かな?と思ったら	100
	ネットワークの設定を確認する	101
10	資料	103
	キャプションの作成と登録	104
	IPアドレスを手動で設定する場合	106
	有線 LAN の主な仕様	108
	索引	113

本使用説明書の表記について

- 本書では、LAN接続を中継する無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを、「アクセスポイント」と表記しています。
- 本書は、LANやFTPサーバーの環境が整っていることを前提に説明を行っています。これらの環境を整える方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。
- カメラの操作については、カメラの使用説明書をお読みになり、操作方法を理解していることを前提に説明しています。

本文中の絵文字について

☀️ : メイン電子ダイヤルを示しています。

🕒 : サブ電子ダイヤルを示しています。

🎛️ : マルチコントローラーを示しています。

⚙️ : 設定ボタンを示しています。

* その他、本文中の操作ボタンや設定位置の説明には、ボタンや液晶モニターの表示など、カメラで使われている絵文字を使用しています。

(p. **): 参照ページを示しています。

🚫 : 使用する際に不都合が生じる恐れのある注意事項を記載しています。

📄 : 補足説明や補足事項を記載しています。

操作説明の前提について

- 電源スイッチが〈ON〉になっていることを前提に説明しています。
- メニュー機能やカスタム機能などが初期状態になっていることを前提に説明しています。

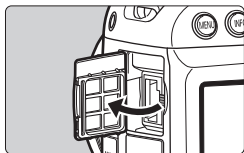
- 画像転送やリモート撮影、画像の閲覧などを行うためには、有線LANとFTPサーバーの設定方法に関する十分な知識が必要です。有線LANとFTPサーバーの設定方法に対して、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機を使用するために、FTPサーバーを含むネットワークに対して、誤った設定を行った結果生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、本機を使用した結果生じた損害に対しましても、弊社では補償できませんので、併せてご了承ください。
- 有線LAN機能を使用する際には、お客様の責任と判断で必要なセキュリティーを設定してご使用ください。不正侵入等によって生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。

1

ネットワークの基本設定

カメラの液晶モニターに表示されるメニュー画面を使用して、ネットワークの基本設定を行います。

LANケーブルの接続



LANケーブルを接続する

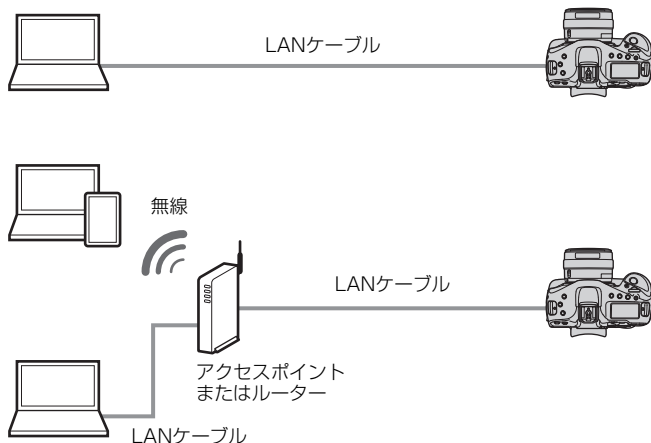
- Ethernet用RJ-45端子のカバーを開けて、LANケーブルでパソコンやアクセスポイントなどに接続します。

LANケーブルについて

LANケーブルは、ギガビット対応でシールド性能の高い、カテゴリ5e以上のSTP（Shielded Twisted Pair）ケーブルを使用してください。

接続形態について

下図のような接続形態で、カメラをパソコンやスマートフォンなどにLAN接続することができます。



事前準備

接続操作ガイドでは、すでに構築されているネットワークにカメラを接続する操作を行います。

あらかじめ、パソコンやスマートフォンなどの機器をネットワークに接続して、カメラと接続できる状態にしておいてください。

● 【FTP転送】

撮影した画像をFTPサーバーに転送することができます。

撮影時に自動転送できるほか、撮影後に画像を選択して転送することもできます。

使用できるパソコンのOSについて

【FTP転送】を使用するためには、以下のOSがインストールされたパソコンが必要です。また、そのパソコンをあらかじめFTPサーバーとして機能させておく必要があります。

- ・ Windows 8、Windows 8 Pro、Windows 8.1、Windows 8.1 Pro
- ・ Windows 7 (Professional/Enterprise/Ultimate の32bit/64bitシステム用)
- ・ Windows Vista (Business/Enterprise/Ultimateの32bit/64bitシステム用)

パソコンをFTPサーバーとして機能させる方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。

なお、以下のOSはFTPサーバー機能がないため、FTP転送はできません。

- ・ Windows 7 Home Premium
- ・ Windows Vista Home Premium/Home Basic Edition

● [EOSUtility]

EOS用ソフトウェアのEOS Utilityで行うリモート撮影を、有線LANで行うことができます。

インターフェースケーブルの代わりに有線LANを利用する仕組みなので、リモート撮影だけでなく、EOS Utilityで行うことができる、ほぼすべてのカメラ操作が可能です。

EOS用ソフトウェアのEOS Utilityがインストールされたパソコンが必要です。

● [WFTserver]

Webのホームページにアクセスする感覚で、パソコンやスマートフォンなどのWebブラウザからカメラに接続し、本格的なりモート撮影や、カメラ内の画像の閲覧を行うことができます。

ブラウザについて

このカメラでは、下記のOSとWebブラウザで動作確認を行っています。ご使用の環境によって動作が異なる場合があります。

- Windows 8.1, Windows 7 : Google Chrome Ver. 44
- Windows 8.1, Windows 7 : Internet Explorer 11
- OS X (OSバージョン10.10) : Safari Ver. 8.0
- iOS (OSバージョン8.4) : Safari
- Android (OSバージョン4.4) : Google Chrome

- * 上記のOSとWebブラウザでの動作は、すべての端末に対して保証するものではありません。
- * WebブラウザでCookieを無効にしていると、使用できません。
- * WebブラウザでJavaScriptを使用しない設定にしていると、使用できません。
- * WebブラウザがHTML 5に対応していないときは、動画の再生はできません。

● 【Smartphone】

スマートフォンやタブレットで、簡単なリモート撮影や、カメラ内の画像の閲覧を行うことができます。

この機能を使用するためには、アクセスポイントとカメラを有線LANで接続する必要があります。

また、iOSまたはAndroidがインストールされたスマートフォンに、**専用アプリケーションのCamera Connect（無料）をインストールする必要があります。**

- ・ Camera Connectは、App StoreまたはGoogle Playからダウンロードすることができます。
- ・ Camera Connectが対応しているOSのバージョンについては、Camera Connectのダウンロードサイトでご確認ください。
- ・ カメラやCamera Connectの画面表示と機能は、カメラのファームウェアアップデートやCamera Connect、iOS、Androidなどのバージョンアップにより変更される可能性があります。そのため、本書に記載している画面例や操作説明と異なる可能性があります。

なお、本書およびカメラの液晶モニターに表示される画面では、スマートフォンとタブレットをあわせて「スマートフォン」と記載しています。

● 【カメラ間時刻同期】

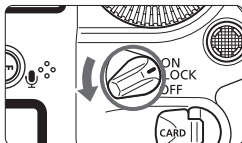
マスターカメラの時刻を、最大10台までのスレーブカメラに設定することができます。なお、時刻同期を行っても、マスターカメラとスレーブカメラの時刻誤差が最大±0.05秒生じます。

同じ機種のカメラを複数用意します。

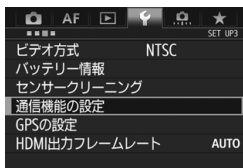
通信機能の基本設定

はじめに、通信機能の基本的な設定を行います。

通信機能を設定する

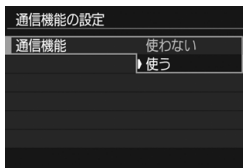


1 カメラの電源スイッチを入れる



2 【通信機能の設定】を選ぶ

- カメラの〈MENU〉ボタンを押します。
- [43] タブの [通信機能の設定] を選び [SET] を押します。



3 【通信機能】で【使う】を選ぶ

- [ネットワークの設定] が選択できるようになります。

⚠️ [1:多重露出撮影] が [しない] 以外に設定されているときは、[43:通信機能の設定] は選択できません。

ニックネームを登録する

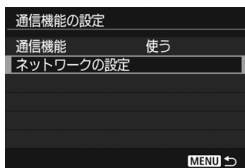
カメラにニックネーム（識別用の名称）を付けます。

このニックネームは、他の機器とLAN接続するとき、接続先の機器で表示されます。



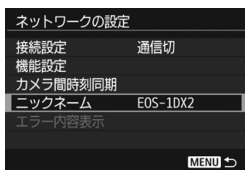
1 【通信機能の設定】を選ぶ

- [F3] タブの【通信機能の設定】を選び〈SET〉を押します。

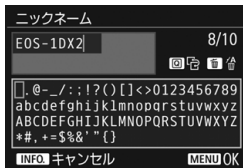


2 【ネットワークの設定】を選ぶ

- 【通信機能】を【使う】に設定したあとで、【ネットワークの設定】を選びます。

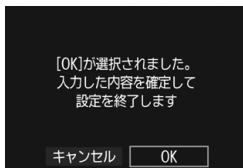


3 【ニックネーム】を選ぶ



4 ニックネームを入力する

- 入力方法は、次ページを参照してください。
- 1～10字以内で、好きな文字を入力します。



5 設定を終了する

- 入力が終わったら〈MENU〉ボタンを押します。
- 確認画面で〔OK〕を選んで〈SET〉を押すと、メニュー画面に戻ります。

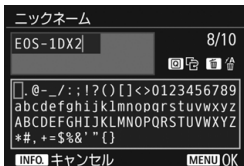
以上で通信機能の基本設定は完了です。

カメラ間時刻同期に関する説明は、67ページからの説明を参照してください。それ以外の機能に関する説明は、16ページからの説明を参照してください。

⚠ ニックネームは、LAN接続に必須な情報であるため、すべての文字を削除することはできません。

📄 初期設定では、ニックネームはカメラ名が表示されます。

仮想キーボードの操作方法について



- **入力エリアの切り換え**
 〈Q〉ボタンを押すと、上下の入力エリアが交互に切り換わります。
- **カーソルの移動**
 上側のエリアで〈○〉または〈※〉を操作すると、カーソルが移動します。

● 文字の入力

下側のエリアで〈○〉または〈※〉を操作して文字を選び、〈SET〉を押して文字を入力します。

画面右上の「*/」で、入力した文字数と入力できる文字数を確認することができます。

● 文字の削除

〈⏪〉ボタンを押すと1文字消去されます。

● 入力の終了

〈MENU〉ボタンを押すと、入力を確定して終了します。確認画面が表示されたときは、[OK] を選んで終了します。

● 入力のキャンセル

〈INFO〉ボタンを押すと、入力をキャンセルして終了します。確認画面が表示されたときは、[OK] を選んで終了します。

接続ウィザードを表示する

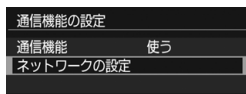
この項では、接続操作ガイドの流れに沿って説明します。途中、エラーが表示されたときは、9章の『トラブルシューティング』(p.87)を参照して、設定内容を見直してください。

- 接続操作ガイドでの設定中にシャッターボタンなどを押すと、接続操作ガイドが終了しますので、設定が終わるまでシャッターボタンなどを押さないよう注意してください。
- [▼2] タブの [オートパワーオフ] は、[しない] に設定してください。オートパワーオフ機能が働くと、接続操作ガイドが途中で終了します。



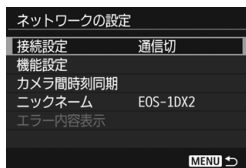
1 [通信機能の設定] を選ぶ

- [▼3] タブの [通信機能の設定] を選びく(SET)を押します。

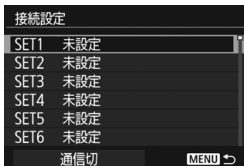


2 [ネットワークの設定] を選ぶ

- [通信機能] を [使う] に設定したあとで、[ネットワークの設定] を選びます。



3 [接続設定] を選ぶ



4 [SET*] を選ぶ



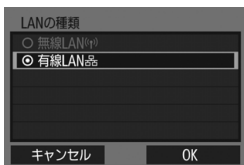
5 [接続ウィザード] を選ぶ

- [通信方法の選択] 画面が表示されます。
- ➔ カメラの〈LAN〉ランプが緑色に点滅します。



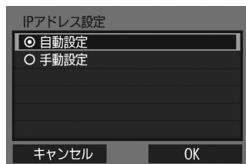
6 通信方法を選ぶ

- 9ページを参考にして、通信方法を選びます。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。




7 [有線LAN] を選ぶ

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



8 【自動設定】を選ぶ

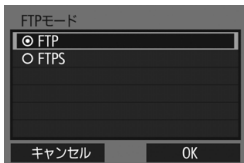
- [OK] を選んで $\langle \text{SET} \rangle$ を押すと、通信方法に応じた設定画面が表示されます (p.19)。
- 【自動設定】でエラーが表示されたときや手動で設定するとき、106ページを参照してください。

 IPアドレスを自動設定するには、DHCPサーバーや、DHCPサーバー機能を持つアクセスポイントやルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。

通信方法に応じた設定を行う

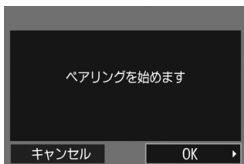
ここからは、通信方法に応じた設定画面になります。選択した通信方法の説明ページをお読みください。

FTP転送



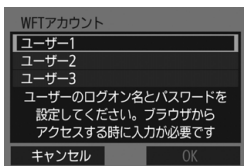
2章 (p.21)

EOSUtility



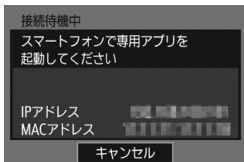
3章 (p.39)

WFTserver (WFTサーバー)



4章 (p.43)

Smartphone (スマートフォン)



5章 (p.59)

2

FTP サーバーへの 画像転送

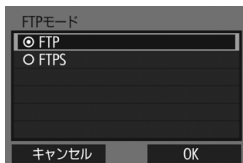
FTPサーバーに接続して、カメラ内の画像をパソコンに転送することができます。

FTP転送では、撮影時にFTPサーバーへ自動転送できるほか、撮影後にまとめて転送することもできます。

- この章では、1章からの続きを説明しています。

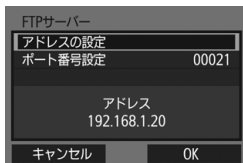
FTPサーバーの接続設定を行う

この項では、1章からの続きを説明しています。



1 FTPモードを選ぶ

- ルート証明書を使用して FTP 転送のセキュリティを行うときは、[FTPS] を選びます。
- ルート証明書の設定については、25 ページを参照してください。
- [OK] を選んで <SET> を押すと、次の画面に進みます。



2 [アドレスの設定] を選ぶ

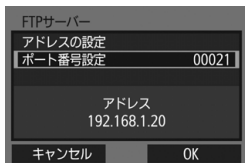
→ 仮想キーボードが表示されます。



3 FTPサーバーのサーバー名、またはIPアドレスを入力する

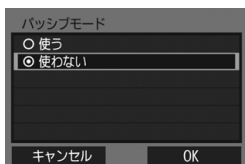
- IPアドレスを [自動設定] にしているときやDNSアドレスを [手動設定] にしているときは、左の画面が表示されます。
- 画面の操作は、『仮想キーボードの操作方法について』(p.15) を参照してください。
- DNSアドレスを [使わない] 設定のときは、左の画面が表示されます。
- <方向キー> を回して上側の入力場所を選び、<方向キー> を回して入力する数値を選びます。<SET> を押すと選んだ数値が入力されます。





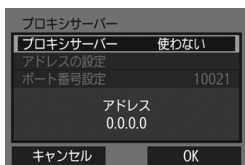
4 ポート番号を設定する

- [ポート番号設定] は、通常00021を設定します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



5 パッシブモードを設定する

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。
- 手順8で「エラー 41：FTPサーバーに接続できません」が表示されたときは、[パッシブモード] を [使う] 設定にすると解決することがあります。



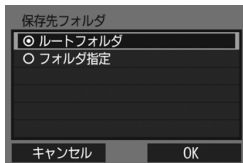
6 プロキシサーバーを設定する

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



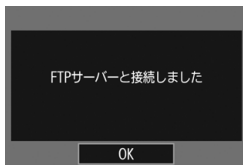
7 ログオン方法を設定する

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



8 保存先フォルダを設定する

- [ルートフォルダ] を選択すると、FTPサーバーで設定したルートフォルダの中に保存されます (p.37)。
 - [フォルダ指定] を選択すると、ルートフォルダの中にある保存先フォルダを指定することができます。フォルダがないときは、自動作成されます。
 - [OK] を選んで **<SET>** を押すと、次の画面に進みます。
- カメラの **<LAN>** ランプが緑色に点灯します。



9 [OK] を選ぶ

- **<SET>** を押すと接続の完了画面が表示されます。



10 [OK] を選ぶ

- **<SET>** を押すと [ネットワークの設定] 画面に戻ります。

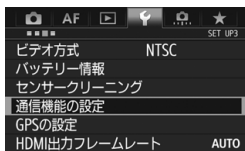
これでFTP転送の接続設定は完了です。

画像転送中は、カメラの **<LAN>** ランプが緑色に点滅します。

FTPS用のルート証明書の読み込み

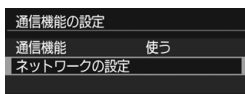
接続設定時に、FTPモードを [FTPS] に設定したときは、FTPサーバーと同じルート証明書をカメラに読み込む必要があります。

- カメラに読み込むことができるのは、ファイル名が「root.cer」、
「root.crt」、「root.pem」のルート証明書のみです。
- カメラに読み込むことができるルート証明書ファイルは1つだけです。
あらかじめ、ルート証明書ファイルの入ったカードを入れてから操作してください。



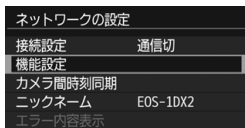
1 [通信機能の設定] を選ぶ

- [🔧3] タブの [通信機能の設定] を選び (SET) を押します。

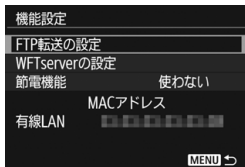


2 [ネットワークの設定] を選ぶ

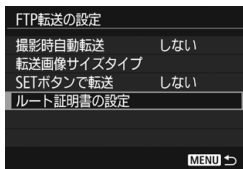
- [通信機能] を [使う] に設定したあとで、
[ネットワークの設定] を選びます。



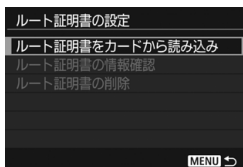
3 [機能設定] を選ぶ



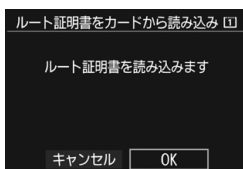
4 [FTP転送の設定] を選ぶ



5 【ルート証明書の設定】を選ぶ




6 【ルート証明書をカードから読み込み】を選ぶ



7 【OK】を選ぶ

- ルート証明書が読み込まれます。
- 確認画面で【OK】を選ぶと、【ルート証明書の設定】画面に戻ります。

- 手順6の画面で【ルート証明書の削除】を選ぶと、カメラに読み込んだルート証明書を削除することができます。また、【ルート証明書の情報確認】を選ぶと、発行者や発行先、有効期限などの情報が確認できます。

 証明書を読み込むことができるカードは、[📁:記録機能とカード・フォルダ選択] の [記録・再生] または [再生] で選択しているカードです。

1枚ずつ転送する

撮影時に自動転送する

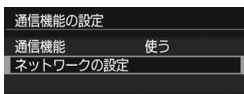
撮影した画像をすぐにFTPサーバーへ自動転送します。なお、転送中も通常どおり静止画撮影を行うことができます。

- 必ずカードを入れて撮影してください。画像が記録されない状態で撮影すると、画像が転送されません。
- 動画は撮影時に自動転送できません。撮影後、32～36ページで説明している方法で転送してください。



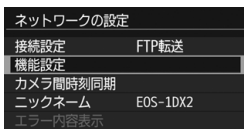
1 【通信機能の設定】を選ぶ

- [F3] タブの [通信機能の設定] を選びく(SET)を押します。



2 【ネットワークの設定】を選ぶ

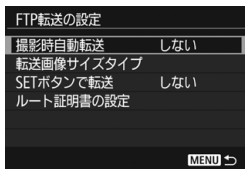
- [通信機能] を [使う] に設定したあとで、[ネットワークの設定] を選びます。



3 【機能設定】を選ぶ

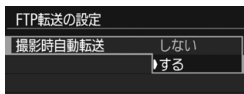


4 【FTP転送の設定】を選ぶ



5 【撮影時自動転送】を選ぶ

- 【する】を選びます。



6 撮影する

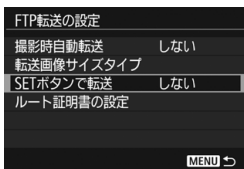
- 撮影した画像が FTP サーバーに転送されます。



- 連続撮影したときは、撮影した順にFTPサーバーへ画像が転送されます。
- 撮影した画像は、カードにも記録されます。
- 転送が中断した画像や転送に失敗した画像は、通信状態が回復すると自動的に再転送されます (p.31)。なお、あとからまとめて再転送することもできません (p.32)。

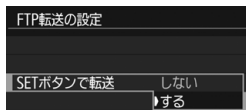
再生して転送する

画像を再生して、〈SET〉を押すだけで転送することができます。なお、転送中も通常どおり静止画撮影を行うことができます。



1 [SETボタンで転送] を選ぶ

- FTP 転送の設定画面で、[SET ボタンで転送] を選びます。
- [する] を選びます。



2 画像を選ぶ

- カメラの 〈▶〉 ボタンを押します。
- 転送する画像を選び、〈SET〉を押すとその画像が転送されます。
- 動画は転送できません。動画を選んで〈SET〉を押すと、動画再生パネルが表示されます。

転送する画像のサイズとタイプを設定する

CFカードとCFastカードに異なるサイズの画像を同時記録したときや、RAW+JPEGで撮影した画像は、どの画像を転送するかを設定することができます。

28ページの手順5で「転送画像サイズタイプ」を選ぶと、転送する画像のサイズとタイプを設定することができます。

FTP転送の設定	
撮影時自動転送	しない
転送画像サイズタイプ	
SETボタンで転送	しない
ルート証明書の設定	

1 「転送画像サイズタイプ」を選ぶ

転送画像サイズタイプ	
転送JPEGのサイズ	大きいサイズ
転送RAWのサイズ	大きいサイズ
RAW+JPEG転送	JPEGのみ

MENU ⇨

2 転送する画像のサイズとタイプを選ぶ

転送JPEGのサイズ	大きいサイズ 小さいサイズ
転送RAWのサイズ	大きいサイズ 小さいサイズ
RAW+JPEG転送	JPEGのみ RAWのみ RAW+JPEG

- CFカードとCFastカードの一方にJPEGラージを、もう一方のカードにJPEGスモールを記録する設定で、JPEGスモールの方を転送したいときは、「転送JPEGのサイズ：小さいサイズ」に設定します。
- CFカードとCFastカードの一方にRAWを、もう一方のカードにJPEGを記録する設定のときは、「RAW+JPEG転送」の設定で転送する画像を決めます。カード1枚にRAW+JPEG同時記録を行うときも同様に設定します。
- 同じ画像サイズの画像がCFカードとCFastカードに同時記録される場合は、[👉1] タブの「記録機能とカード・フォルダ選択」で、「記録・再生」または「再生」で選択しているカードに記録される画像が転送されます。

転送失敗画像の自動再転送について



転送に失敗すると、カメラの〈LAN〉ランプが赤色に点滅します。この場合は、〈MENU〉ボタンを押して〔**F3**〕タブの〔通信機能の設定〕を選び、〈SET〉を押してください。左図の画面が表示されますので、エラー番号を確認し、88ページを参照してエラーの原因を取り除いてください。

エラーの原因が取り除かれると、転送に失敗した画像が自動的に再転送されます。この自動再転送機能は、撮影時自動転送のときだけでなく、撮影後の画像をFTP転送するときも働きます。なお、転送をキャンセルしたり、カメラの電源を切った時は、自動再転送されません。32ページを参照して転送してください。





〔機能設定〕画面（p.84）で節電機能を設定すると、FTP転送後、FTPサーバーからログオフしてLAN接続を休止させることができます。

まとめて転送する

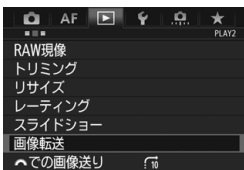
撮影後に、複数の画像を任意に選択しての転送や、未転送画像、転送失敗画像の一括転送を行うことができます。また、キャプション（見出し）を付けて画像を転送することができます。

なお、転送中も通常どおりに静止画撮影を行うことができます。



- ライブビュー撮影／動画撮影スイッチが〈〉のときは、画像を転送できません。〈〉に設定してください。

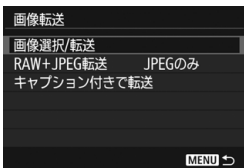
転送する画像を選択する

● 画像選択



1 [画像転送] を選ぶ

- [2] タブの [画像転送] を選び、〈〉を押します。



2 [画像選択/転送] を選ぶ



3 [画像選択] を選ぶ



4 転送する画像を選ぶ

- $\langle \odot \rangle$ を回して転送する画像を選び、 $\langle \text{SET} \rangle$ を押します。
- $\langle \odot \rangle$ を回して画面の左上に $[\checkmark]$ を表示させ、 $\langle \text{SET} \rangle$ を押します。
- $\langle \text{Q} \rangle$ ボタンを押して $\langle \text{☀} \rangle$ を左に回していくと、3画像表示になります。 $\langle \text{☀} \rangle$ を右に回すと、1枚表示に戻ります。
- 他に転送したい画像があるときは、手順4を繰り返します。



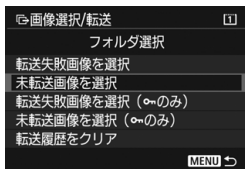
5 画像を転送する

- **[FTP転送]** を選び $\langle \text{SET} \rangle$ を押します。
- 確認画面で **[OK]** を選ぶと、画像が転送されます。
- **[画像選択]** **[全画像]** で選択した画像も、この操作で転送します。

! 撮影後の画像転送中にライブビュー撮影／動画撮影スイッチを $\langle \text{!} \rangle$ にすると、その間、画像転送が中断されます。 $\langle \text{!} \rangle$ にすると、画像転送を再開します。

- !**
- 撮影後の動画も転送することができます。なお、ライブビュー／動画撮影スイッチが $\langle \text{!} \rangle$ のときは、画像を転送できません。 $\langle \text{!} \rangle$ にして転送してください。
 - **[画像選択]** を選んだときに、画面の左上に表示されるマークで転送履歴を確認することができます（マークなし：未選択画像、 \checkmark ：転送する画像、 \times ：転送失敗画像、 \circ ：転送済み画像）。
 - 35ページの **[RAW+JPEG転送]**、および上記の手順1～4の操作は、FTPサーバーに接続されていない状態でも行うことができます。

● ■ 選択



【■ 選択】を選び、【未転送画像を選択】を選びます。フォルダを選択すると、そのフォルダに入っている、FTPサーバーに転送していない「すべての画像」が選択されます。

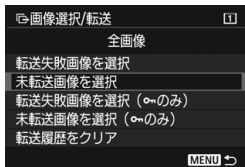
【未転送画像を選択 (○のみ)】を選び、フォルダを選択すると、そのフォルダに入っている、FTPサーバーに転送していない「プロテクトされている画像」が選択されます。

【転送失敗画像を選択】を選ぶと、選択したフォルダに入っている、転送に失敗した画像が選択されます。

【転送失敗画像を選択 (○のみ)】を選ぶと、選択したフォルダに入っている、転送に失敗したプロテクト画像が選択されます。

【転送履歴をクリア】を選ぶと、選択したフォルダに入っている画像の転送履歴が消去されます。転送履歴を消去してから、【未転送画像を選択】または【未転送画像を選択 (○のみ)】を選ぶと、フォルダに入っている「すべての画像」、または「プロテクトされている画像」をもう一度転送することができます。

● 全画像



【全画像】を選び、【未転送画像を選択】を選ぶと、カードに記録されている、FTPサーバーに転送していない「すべての画像」が選択されます。

【未転送画像を選択 (○のみ)】を選ぶと、カードに記録されている、FTPサーバーに転送していない「プロテクトされている画像」が選択されます。

【全画像】選択時における【転送失敗画像を選択】【転送失敗画像を選択 (○のみ)】【転送履歴をクリア】の内容は、【■ 選択】を参考にしてください。

RAW+JPEGで撮影した画像を転送するとき



RAW+JPEGで撮影した画像は、どの画像を転送するかを設定することができます。

32ページの手順2で [RAW+JPEG転送] を選び、[JPEGのみ] [RAWのみ] [RAW+JPEG] から選びます。

- [RAW+JPEG 転送] の設定は、[**F3**: 通信機能の設定] → [ネットワークの設定] → [機能設定] → [FTP転送の設定] → [転送画像サイズタイプ] の [RAW+JPEG転送] の設定と連動して切り換わります (p.30)。

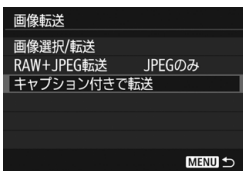
画像転送中のメニュー操作について

画像転送中もメニュー操作を行うことができますが、画像転送に不都合を及ぼす [ネットワークの設定]、[画像プロテクト]、[画像消去]、[カード初期化]、[記録機能とカード・フォルダ選択] などのメニュー項目は操作できないようになっています。

キャプション付きで転送する

32ページの手順2で [キャプション付きで転送] を選ぶと、登録したキャプションを画像に付加して、1枚ずつ転送することができます。印刷する枚数などを画像転送先に伝えたいときなどに便利です。なお、カメラに保存された画像にもキャプションが付加されます。

- 画像に付加されたキャプションは、Exif 情報のユーザーコメント欄で確認することができます。
- キャプションの作成／登録方法は、104ページを参照してください。



1 [キャプション付きで転送] を選ぶ

- 32ページの手順2の画面で [キャプション付きで転送] を選び、<SET> を押します。
→ 最後に再生した画像が表示されます。



2 キャプションを設定する

- [キャプション] を選び、<SET> を押します。
- <DISP> を回してキャプションの内容を選び、<SET> を押します。



3 [転送] を選ぶ

- 画像がキャプション付きで送信されます。送信が終了すると [画像転送] 画面に戻ります。

ⓘ [キャプション付きで転送] 画面では、画像を任意に選択することはできません。ほかの画像をキャプション付きで転送するときは、その画像を再生してからこの操作を行ってください。

転送された画像を見る

FTPサーバーに転送された画像は、FTPサーバーで設定した下記のフォルダに保存されています。

FTPサーバーの転送先フォルダについて

- FTPサーバーを初期設定で使用しているときは、[Cドライブ] → [Inetpub] フォルダ → [ftproot] フォルダの中に画像、または画像が保存されているフォルダが入っています。
- FTPサーバーの設定で転送先のルートフォルダが変更されているときは、FTPサーバーの管理者に問い合わせてください。

画像が保存されているフォルダについて

初期設定では、FTPサーバーで設定したルートフォルダの中に、「A/DCIM/100EOS1D」というようなフォルダ階層を自動作成して画像を保存します。

なお、記録・再生メディアがCFカードのときは「A/DCIM/100EOS1D」、CFastのときは「B/DCIM/100EOS1D」というように、フォルダ階層を自動作成して画像を保存します（CFカードの画像はAフォルダ、CFastの画像はBフォルダに振り分けます）。

3

EOS Utility で リモート操作

EOS Utilityを利用して、カメラ内の画像を閲覧したり、パソコンへ保存することができます。また、EOS Utilityでカメラをリモート操作して撮影したり、カメラの設定を変更することができます。

インターフェースケーブルの代わりに有線LANを利用する仕組みなので、EOS Utilityで行うことができるほぼすべてのカメラ操作が可能です。

- この章では、1章からの続きを説明しています。
- あらかじめ、パソコンにEOS Utilityをインストールしてから接続設定を行ってください (p.10)。

EOS Utilityの接続設定を行う

この項では、1章からの続きを説明しています。

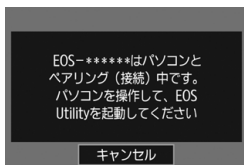
- 接続するためにはパソコンの操作が必要です。詳しくは、パソコンの使用説明書を参照してください。
- ここでは、Windows 8.1の場合を例にして説明しています。

カメラ側の操作-1



1 [OK] を選ぶ

- [OK] を選んで <SET> を押すと、下記のメッセージ画面が表示されます。なお、「*****」は、カメラのMACアドレス下6桁です。



パソコン側の操作



2 パソコンでEOS Utilityを起動する

3 EOS Utilityの[Wi-Fi/LAN接続ペアリング]をクリックする

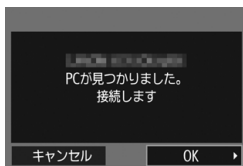
- ファイアウォールに関するメッセージが表示されたときは、[はい] を選びます。



4 パソコンで [接続] をクリックする

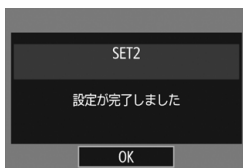
- 接続するカメラを選択して、[接続] をクリックします。
- 複数のカメラが表示される場合は、カメラの液晶モニターに表示されたMACアドレスで接続するカメラを特定します。
- MACアドレスは、[機能設定] 画面 (p.84) でも確認できます。

カメラ側の操作-2



5 [OK] を選ぶ

- 手順4で [接続] 操作をしたパソコンが見つかると、左の画面が表示されます。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、接続の完了画面が表示されます。



6 [OK] を選ぶ

- 〈SET〉を押すと [ネットワークの設定] 画面に戻ります。
- ➔ カメラの〈LAN〉ランプが緑色に点灯します。

これでEOS Utilityとの接続設定は完了です。

- 一度ペアリングを行った「カメラとパソコンの組み合わせ」で、設定を変えずに使い続ける場合、次回からはペアリングを行う必要はありません。

EOS Utilityを使う

EOS Utilityの操作方法については、EOS Utility使用説明書を参照してください。リモート撮影だけでなく、さまざまなカメラ操作が可能です。



- 有線LANの通信速度によっては、動きのある被写体を滑らかに表示できないことがあります。
- 接続中は [多重露出]、[RAW現像]、[トリミング]、[リサイズ] は選択できません。

4

WFT サーバーで リモート操作

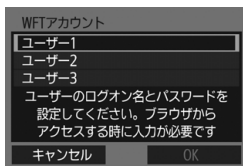
Web ブラウザーを利用して、カメラ内の画像を閲覧したり、パソコンやスマートフォンなどへ保存することができます。また、Web ブラウザーでカメラをリモート操作して撮影したり、カメラの設定を変更することができます。

- この章では、1章からの続きを説明しています。

WFTサーバーの接続設定を行う

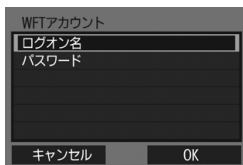
この項では、1章からの続きを説明しています。

パソコンからカメラに接続するための、ログオン名とパスワードを設定します。ここで設定したログオン名とパスワードは、カメラに接続する際に使用します。



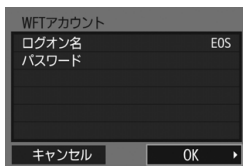
1 [ユーザー*] を選ぶ

- WFTサーバーでは、カメラ1台に対し、3台の機器が接続できます。複数の機器が接続するときは、重複しないユーザー番号を選びます。



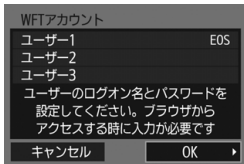
2 [ログオン名] または [パスワード] を選ぶ

- 仮想キーボードが表示されます。15ページを参照してログオン名とパスワードを入力します。



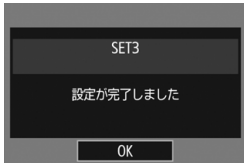
3 [OK] を選ぶ

- ログオン名とパスワードを設定したら、[OK] を選んで <SET> を押します。
- 手順1の画面に戻ります。
- ユーザーを追加するときは、手順1～3を繰り返します。



4 [OK] を選ぶ

- [OK] を選んで <SET> を押すと、接続の完了画面が表示されます。



5 [OK] を選ぶ

- <SET> を押すと [ネットワークの設定] 画面に戻ります。

これでWFTサーバーとの接続設定は完了です。



WFTアカウントの設定は [機能設定] 画面 (p.84) で変更することができます。また、ポート番号の設定も [機能設定] 画面で変更することができます。なお、通常、ポート番号 (80) の変更は必要ありません。

WFTサーバーを表示する

Webブラウザにカメラの操作画面「WFTサーバー」を表示します。あらかじめカメラとパソコンやスマートフォンなどをLANで接続しておきます。

スマートフォンからカメラに接続する場合は、アクセスポイントを使用する必要があります (p.8)。

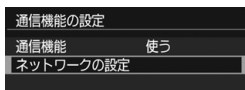
カメラのIPアドレスを確認する

Webブラウザからカメラに接続するためには、手順6で表示されるカメラのIPアドレスを、WebブラウザのURL入力欄に設定する必要があります。



1 【通信機能の設定】を選ぶ

- [F3] タブの【通信機能の設定】を選びく(SET)を押します。



2 【ネットワークの設定】を選ぶ

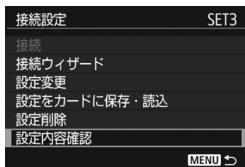
- 【通信機能】を【使う】に設定したあとで、【ネットワークの設定】を選びます。



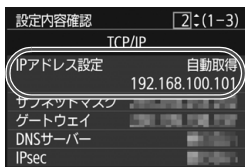
3 【接続設定】を選ぶ



4 【SET* WFTserver】を選ぶ



- 5 **【設定内容確認】を選ぶ**
 → 設定内容が表示されます。



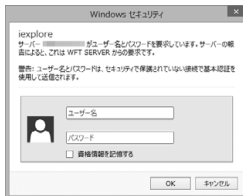
- 6 **設定内容を確認する**
- ◀▶ を回してページを切り換えます。
 - IPアドレスを書きとめておきます。
 - 確認したら、<MENU> ボタンを押して確認画面を終了します。

WFTサーバーにログインする

- 7 **Webブラウザを起動する**
- パソコンやスマートフォンなどのWebブラウザを起動します。



- 8 **URLを入力する**
- URLの入力欄に、手順6で書きとめたIPアドレスを入力します。
 - <Enter> キーを押します。



9 [ログオン名] と [パスワード] を入力する

- 44ページで設定した [ログオン名] (ユーザー名) と [パスワード] を入力します。
- [OK] を押すとWFTサーバーの画面が表示されます。

10 言語を選択する

- 画面下側の言語を選択します。



- Web ブラウザーがJavaScriptに非対応のときは、WFTサーバーは使用できません。
- 接続中は [多重露出]、[RAW現像]、[トリミング]、[リサイズ] は選択できません。

画像を閲覧する

カメラ内のカードに入っている画像を閲覧することができます。



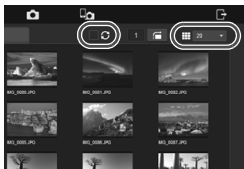
- 1 **【▶ 閲覧】を押す**
→ 画像の閲覧画面が表示されます。







- 2 **カードとフォルダを選ぶ**
- [CF] か [CFast] のタブでカードを選びます。
 - 選んだタブの右側にあるフォルダ名を選ぶと、プルダウンでフォルダを選択することができます。



- 3 **画像を選ぶ**
- 別の画像を見るときは、画面の下側の [◀ ▶] / [◀ ▶] で画面を切り換えることができます。
 - 1画面に表示するサムネイル画像の数を、右上のプルダウンで設定することができます。
 - [🔄] の横のチェックボックスに [☑] を付けると、画面が定期的に更新されます。
 - 動画はファイル名の横に [MOV] または [MP4] が表示されます。



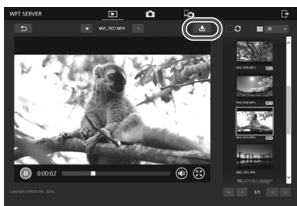
4 画像を取り込む


- サムネイル画像を選ぶと、画像が大きく表示されます。
- [] を押すと、画像を取り込むことができます。
- [] [] を押すと、前後の画像を表示することができます。
- [] を押すと、画像閲覧画面に戻ります。

静止画の再生画面



動画の再生画面

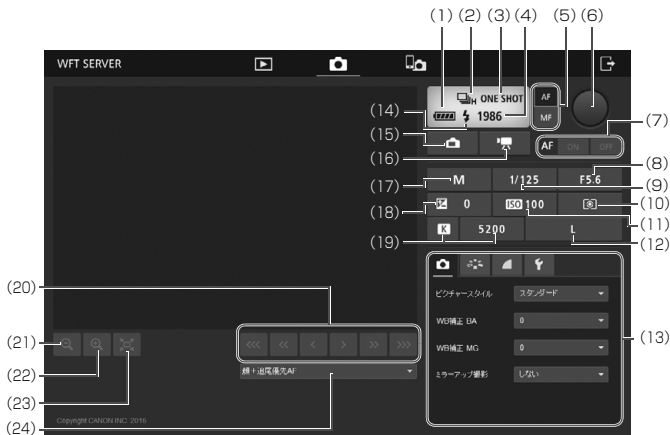


 パソコンやスマートフォンの性能や、使用するブラウザなどによっては、「映像が表示できない」「映像の表示速度が遅い」「画像を機器に取り込むことができない」場合があります。

リモート撮影する【詳細撮影】

WFTサーバーでリモート撮影を行うことができます。


- 1 【📷 詳細撮影】を押す
→ 詳細撮影画面が表示されます。




- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) 電池チェック | (13) メニュー |
| (2) ドライブモード | (14) ストロボ充電完了 |
| (3) AFモード | (15) 静止画ライブビュー撮影ボタン |
| (4) 撮影可能枚数 | (16) 動画撮影ボタン |
| (5) AF/MF切り換えボタン | (17) 撮影モード |
| (6) シャッターボタン | (18) 露出補正 |
| (7) AFボタン | (19) ホワイトバランス |
| (8) 絞り数値 | (20) マニュアルフォーカスボタン |
| (9) シャッター速度 | (21) 縮小ボタン |
| (10) 測光モード | (22) 拡大ボタン |
| (11) ISO感度 | (23) ライブビュー映像サイズ切り換えボタン |
| (12) 記録画質 | (24) AF方式 |

2 レンズのフォーカスモードスイッチを (AF) に設定する

- 「(6) シャッターボタン」を押して、「離すと」AFが行われ撮影されます。

- 「(2) ドライブモード」は、カメラに設定されているドライブモードを表示しています。カメラのドライブモードが連続撮影になっていても、リモート撮影では1枚撮影になります。
- カメラのライブビュー撮影/動画撮影スイッチが「」のときは、静止画撮影はできません。
- フリッカーレス撮影は「**しない**」に自動設定されます。
- ミラーアップ撮影が「**しない**」以外に設定されているときは撮影できません。「(13) メニュー」で「**しない**」に設定にしてください。

 ワンショットAFでは、ピントが合わないと撮影されません。ライブビュー映像を表示して、手動ピント合わせで撮影することをおすすめします。

ライブビュー映像を表示して撮影する



1 ライブビュー映像を表示する

- 「(15) 静止画ライブビュー撮影ボタン」を押します。



2 ピントを合わせる

自動でピントを合わせる場合

- 「(7) AFボタン」で [ON] を押すとAFが行われます。

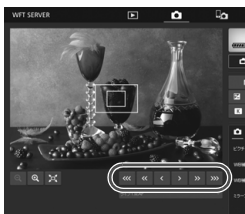
手でピントを合わせる場合

- <◀◀> <◀> <◀> <▶> <▶▶> <▶▶> を押してピント合わせを行います。
 <◀◀> <◀> <◀> は近距離側、<▶> <▶▶> <▶▶> は遠距離側にピントが移動します。
- ピントの移動量は3段階から選ぶことができます。

<◀◀> <▶▶> : 大

<◀> <▶> : 中

<◀> <▶> : 小



- ライブビュー映像が表示されないときは、「(13) メニュー」でライブビュー撮影ができる設定にしてください。
- ライブビュー映像の応答性を速くしたいときは、「(23) ライブビュー映像サイズ切り換えボタン」を押すと、ライブビュー映像が縮小され、応答性が速くなります。もう一度押すと元のサイズに戻ります。



3 撮影機能を設定する

- 記録画質などの項目を選ぶと、その内容が表示され、設定を行うことができます。
- 必要な設定を行います。



4 撮影する

- 「(6) シャッターボタン」を押して、「離すと」撮影されます。
- ➔ 撮影した画像が表示されます。
- 撮影した画像は、カメラ内のカードに保存されます。
- 画像を取り込むときは、『画像を閲覧する』(p.49) を参照してください。

複数の機器がアクセスしている状態で撮影を行うと、ライブビュー映像の動きが止まることがあります。

動画を撮影する



「(16) 動画撮影ボタン」を押すと動画撮影画面が表示されます。

- 設定方法は静止画撮影と同じです。
- 「(6) シャッターボタン」を押して、「離すと」動画撮影が始まります。
- ➔ 動画撮影中は、「(6) シャッターボタン」の表示が赤い [●] から白い [□] に変わります。
- もう一度「(6) シャッターボタン」を押して、「離すと」動画撮影が終了します。

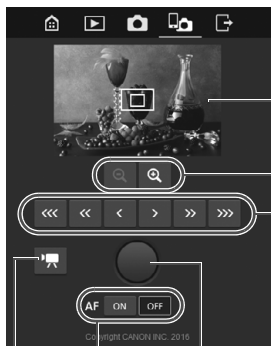
リモート撮影する【簡易撮影】

簡易撮影画面では、細かな機能設定はできませんが、操作画面がコンパクトにまとめられているため、画面の小さなスマートフォンなどでリモート撮影を行うときに便利です。



1 【簡易撮影】を押す

→ 簡易撮影画面とライブビュー映像が表示されます。



ライブビュー映像表示画面

拡大・縮小ボタン

マニュアルフォーカスボタン

〈 <<< >>> 〉 〈 << >> 〉 〈 < > 〉 : 近距離側に
ピントが移動

〈 > >> 〉 〈 >>> 〉 : 遠距離側に
ピントが移動

ピント移動量

〈 <<< >>> 〉 : 大

〈 << >> 〉 : 中

〈 < > 〉 : 小

静止画/
動画撮影
切り換え
ボタン

シャッターボタン
AFボタン



2 ピントを合わせる

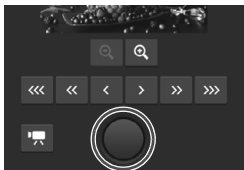
- レンズのフォーカスモードスイッチは、〈AF〉に設定しておきます。

自動でピントを合わせる場合

- 「AFボタン」で [ON] を押すとAFが行われます。

手でピントを合わせる場合

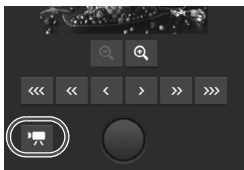
- 〈<<<〉〈<<〉〈<〉〈>〉〈>>〉〈>>>〉を押してピント合わせを行います。



3 撮影する

- 「シャッターボタン」を押して、「離すと」撮影されます。
- ➔ 撮影した画像が表示されます。
- 撮影した画像は、カメラ内のカードに保存されます。
- 画像を取り込むときは、「画像を閲覧する」(p.49)を参照してください。

動画を撮影する



〔📷〕 / 〔●〕 ボタンを押すと静止画撮影画面と動画撮影画面が切り換わります。

- 設定方法は静止画撮影と同じです。
- 「シャッターボタン」を押して、「離すと」動画撮影が始まります。
- ➔ 動画撮影中は、「シャッターボタン」の表示が赤い [●] から白い [□] に変わります。
- もう一度「シャッターボタン」を押して、「離すと」動画撮影が終了します。

5

スマートフォンで リモート操作

スマートフォンを利用して、カメラ内の画像を閲覧したり、スマートフォンへ保存することができます。また、スマートフォンでカメラをリモート操作して撮影したり、カメラの設定を変更することができます。

- この章では、1章からの続きを説明しています。
- あらかじめ、スマートフォンにCamera Connectをインストールしてから接続設定を行ってください (p.11)。

スマートフォンの接続設定を行う

この項では、1章からの続きを説明しています。

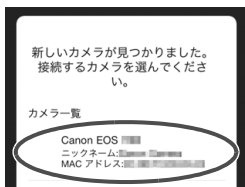
- 接続するためにはスマートフォンの操作が必要です。詳しくは、スマートフォンの使用説明書を参照してください。

スマートフォン側の操作




1 スマートフォンのCamera Connectを起動する

- カメラの液晶モニターに [接続待機中] の画面が表示されたら、スマートフォンのCamera Connectを起動します。

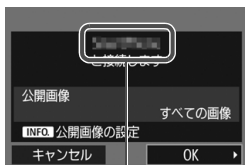


2 スマートフォンで接続するカメラを選ぶ

- Camera Connectの [カメラ一覧] から、接続するカメラを選んでタッチします。
- 複数のカメラが表示されたときは、カメラの液晶モニターに表示されたMACアドレスで接続するカメラを特定します。

 カメラのMACアドレスは、[機能設定] 画面 (p.84) でも確認できます。

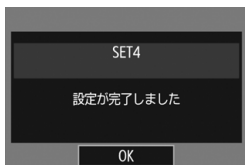
カメラ側の操作



Camera Connectで設定しているデバイスの名前

3 カメラを接続する

- 接続すると、カメラの液晶モニターに左の画面が表示されます。
- 公開する画像を設定するときは、〈INFO〉ボタンを押します。65ページの手順7を参照して設定してください。
- [OK] を選んで 〈SET〉 を押すと、接続の完了画面が表示されます。
- ➔ スマートフォンに、Camera Connectのメイン画面が表示されます。
- ➔ カメラの〈LAN〉ランプが緑色に点灯します。



4 [OK] を選ぶ

- 〈SET〉 を押すと [ネットワークの設定] 画面に戻ります。

これでスマートフォンとの接続設定は完了です。



- デバイスの名前は、Camera Connectの設定画面で確認、変更できます。
- 接続中は、カメラのオートパワーオフ機能は動きません。

スマートフォンでカメラを操作する

スマートフォンにインストールしたCamera Connectを使用して、カメラ内の画像を閲覧したり、リモート撮影などを行うことができます。

Camera Connectのメイン画面



Camera Connectでは、主に下記の操作を行うことができます。操作方法は、Camera Connectの画面に触れながら覚えてください。

[カメラ内の画像一覧]

- カメラ内の画像を閲覧することができます。
- スマートフォンにカメラ内の画像を保存することができます。
- カメラ内の画像に対し、削除などの操作を行うことができます。

[リモート撮影]

- カメラのライブビュー映像を、スマートフォンで見ることができます。
- リモート操作で撮影することができます。




[カメラ設定]

- カメラの設定を変更することができます。

⚙️ (設定ボタン)

- Camera Connectの各種設定を行うことができます。



- リモート撮影で動画を記録中に、接続が切断されたときの動作は、以下のようになります。
 - ・ライブビュー撮影／動画撮影スイッチが〈〉のときは、動画撮影が継続します。
 - ・ライブビュー撮影／動画撮影スイッチが〈〉のときは、動画撮影が終了します。
- ライブビュー撮影／動画撮影スイッチが〈〉のときに、Camera Connectの操作で動画モードにしたときは、カメラを操作して撮影することはできません。
- 接続中は [多重露出]、[RAW現像]、[トリミング]、[リサイズ] は選択できません。
- リモート撮影では、AF速度が遅くなることがあります。
- 通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、リリースのタイミングが遅れることがあります。
- スマートフォンへの画像保存中は、カメラのシャッターボタンを押しても撮影できません。また、カメラの液晶モニターが消灯することがあります。
- MOV形式の動画は一覧に表示されますが、スマートフォンに保存することはできません。なお、MP4形式の動画でも、スマートフォンのOSによっては保存できない場合があります。



- カメラの電源を〈OFF〉にしたときや、カードスロットカバーを開けたときは、接続を休止します。
- RAW画像をスマートフォンに送信すると、スマートフォンに保存される画像は縮小されたJPEG画像になります。
- 接続中は、カメラのオートパワーオフ機能は動きません。
- 接続中は、スマートフォンの節電機能をOFFにしておくことをおすすめします。

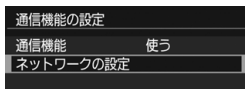
公開する画像を設定する

カメラ側の操作で、スマートフォンに公開する画像を設定することができます。接続設定中、または接続を終了してから設定します。



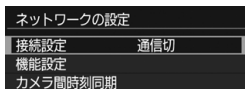
1 [通信機能の設定] を選ぶ

- [📶] タブの [通信機能の設定] を選びく (SET) を押します。



2 [ネットワークの設定] を選ぶ

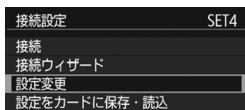
- [通信機能] を [使う] に設定したあとで、[ネットワークの設定] を選びます。



3 [接続設定] を選ぶ



4 [SET* Smartphone] を選ぶ



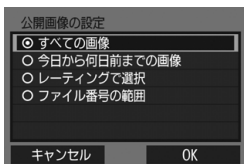
5 [設定変更] を選ぶ

❗ [公開画像の設定] で [すべての画像] 以外を設定しているときは、リモート撮影はできません。

📶 再接続するときは、接続する前に公開画像の設定を確認してください。



6 【公開画像の設定】を選ぶ



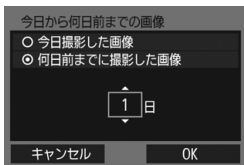
7 項目を選ぶ

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、設定画面が表示されます。

【すべての画像】

カード内のすべての画像を公開します。

【今日から何日前までの画像】



撮影日で公開する画像を指定します。最大で9日前までの画像を指定できます。

- 項目を選び、〈SET〉を押します。
- [何日前までに撮影した画像] のときは、今日から何日前までに撮影した画像を公開するかを指定します。日数が〈0〉の状態でも〈0〉を回して日数を指定し、〈SET〉を押して確定します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、公開する画像が設定されます。

【レーティングで選択】



レーティングを付加した画像（または付加していない画像）やレーティングの種類で公開する画像を指定します。

- レーティングの種類を選んで〈SET〉を押すと、公開する画像が設定されます。

【ファイル番号の範囲】（範囲で指定）



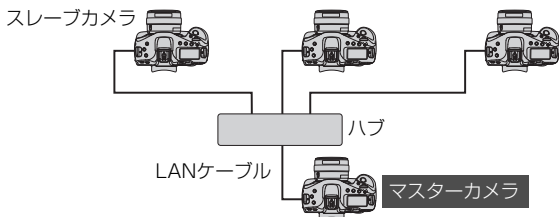
ファイル番号順に並んだ画像の開始と終了の画像を選んで、公開する画像を指定します。

- 1 〈○〉を回してファイルの始点を選びます。
- 2 〈SET〉を押して、画像の選択画面を表示します。
〈○〉で画像を選びます。
〈Q〉ボタンを押して〈☰〉を左に回していくと、インデックス表示にして選ぶことができます。
- 3 画像を選び、〈SET〉を押して決定します。
- 4 同様の操作で、ファイルの終点を設定します。
始点に選んだ画像よりも、あとに撮影した画像を選びます。
- 5 始点と終点の設定が終わったら [OK] を選び、〈SET〉を押します。

6

カメラ間時刻同期

マスターカメラの時刻を、最大10台までのスレーブカメラに設定することができます。なお、時刻同期を行っても、マスターカメラとスレーブカメラの時刻誤差が最大 ± 0.05 秒生じます。



時刻を同期させる

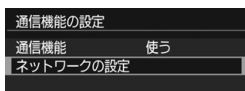
カメラ同士を直接LANケーブルで接続します。スレーブが複数のときは、ハブを介してLANケーブルで接続します。

手順1～5は、マスターカメラとスレーブカメラ共通の操作です。



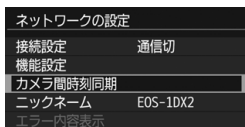
1 [通信機能の設定] を選ぶ

- [F3] タブの [通信機能の設定] を選びく(SET)を押します。



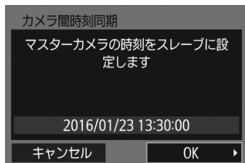
2 [ネットワークの設定] を選ぶ

- [通信機能] を [使う] に設定したあとで、[ネットワークの設定] を選びます。



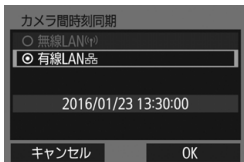
3 [カメラ間時刻同期] を選ぶ

- ほかの機器と接続中のときは [[接続設定] を [通信切] にします] と表示されます。[OK] を選んで接続を終了します。



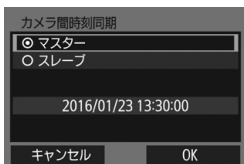
4 [OK] を選ぶ

! カメラ間時刻同期は、必ず同じ機種のカメラ同士で行ってください。マスターカメラとスレーブカメラの機種が異なっていると、スレーブカメラへの時刻同期ができません。



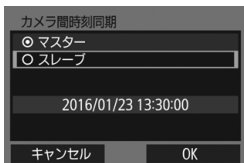
5 [有線LAN] を選ぶ

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



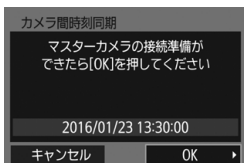
6 マスターカメラを準備する

- [マスター] を選び〈SET〉を押します。
 - [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。
- ➔ 表示される画面で待機し、次の手順7でスレーブカメラの準備を行います。

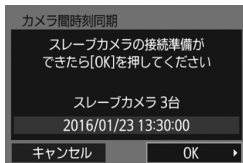


7 スレーブカメラを準備する

- スレーブカメラに、前ページの手順1～5を設定し、[スレーブ] を選びます。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。

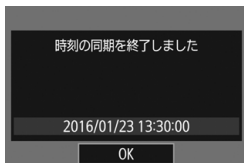


- ➔ 表示される画面で [OK] を選びます。
- 複数のスレーブカメラに時刻を設定するときは、すべてのスレーブカメラでこの操作を行います。
- ➔ マスターカメラの液晶モニターに、検出したスレーブカメラの台数が表示されます。



8 マスターカメラで [OK] を選ぶ

- スレーブカメラの台数を確認し、[OK] を選びます。
- 時刻の同期が行われます。

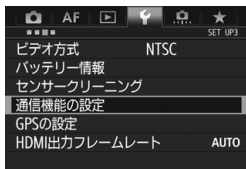


- [OK] を選ぶと [ネットワークの設定] 画面に戻ります。

7

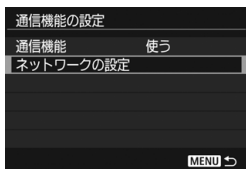
接続の終了と再接続

接続を終了する



1 [通信機能の設定] を選ぶ

- [F3] タブの [通信機能の設定] を選び、(SET) を押します。



2 [ネットワークの設定] を選ぶ

- [通信機能] を [使う] に設定したあとで、[ネットワークの設定] を選びます。



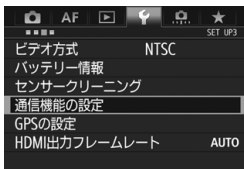
3 [接続設定] を選ぶ



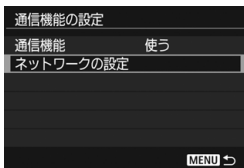
4 [通信切] を選ぶ

- 接続が終了します。

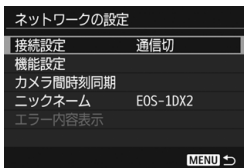
再接続する



- 1 **【通信機能の設定】を選ぶ**
- [F3] タブの [通信機能の設定] を選びく (SET) を押します。



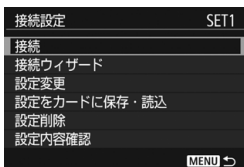
- 2 **【ネットワークの設定】を選ぶ**
- [通信機能] を [使う] に設定したあとで、[ネットワークの設定] を選びます。



- 3 **【接続設定】を選ぶ**



- 4 **【SET*】を選ぶ**
- 保存した設定の中から、接続する設定を選びます。



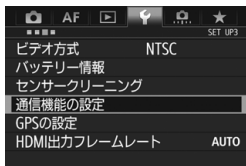
- 5 **【接続】を選ぶ**
- ➔ 再接続します。
 - 接続先の機器で設定を変更しているときは、カメラに接続するように設定し直してください。

8

接続設定の確認と操作

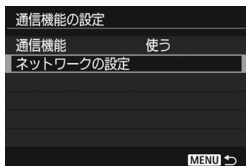
接続設定画面を表示する

カメラに保存されている接続設定の確認や変更、削除を行います。



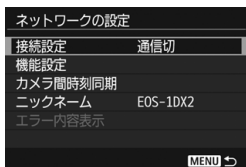
1 【通信機能の設定】を選ぶ

- [F3] タブの [通信機能の設定] を選びく (SET) を押します。



2 【ネットワークの設定】を選ぶ

- [通信機能] を [使う] に設定したあとで、 [ネットワークの設定] を選びます。

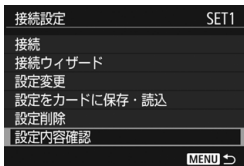


3 【接続設定】を選ぶ



4 設定を選ぶ

- 保存した設定の中から、確認する設定を選びます。



5 設定の確認や変更を行う

- 項目を選んで〈SET〉を押し、表示される画面で設定の確認や変更を行います。

【接続】 (p.73)

再接続するときに選びます。確認画面で [OK] を選んで 〈SET〉 を押すと接続します。

【接続ウィザード】

接続ウィザードで接続設定を行います。表示される画面にしたがって接続設定を行ってください。既に設定が保存されているときは、設定が上書き保存されます。

【設定変更】 (p.78)

カメラに保存されている接続設定の内容を変更します。

【設定をカードに保存・読込】 (p.82、83)

カメラに保存されている接続設定をカードに保存したり、カードに保存した接続設定をカメラに読み込むことができます。

【設定削除】

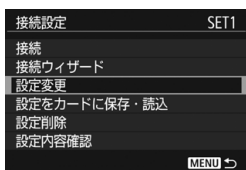
カメラに保存されている接続設定を削除します。確認画面で [OK] を選ぶと、設定が削除されます。

【設定内容確認】

カメラに保存されている接続設定の内容を確認します。[設定内容確認] を選ぶと、設定内容が表示されます。

設定を変更する

接続ウィザードで設定した内容を変更することができます。また、接続ウィザードでは設定できない、FTPサーバーに同名のファイルが転送されたときの設定などを行うことができます。



1 【設定変更】を選ぶ

- 77ページの手順5で表示した [接続設定] 画面で [設定変更] を選びます。



2 変更する項目を選ぶ

- 項目を選んで〈SET〉を押すと、設定画面が表示されます。

[セット名]

設定に名前を付けることができます。[セット名] を選び、仮想キーボード (p.15) で文字を入力します。

[TCP/IP]



IPアドレスの設定やセキュリティーの設定など、ネットワークに関する設定を行います。

【FTPサーバー】

FTPサーバー	
送信先サーバー	
ログオン・パスワード	
転送先フォルダ	
転送先フォルダの階層	カメラ
同名ファイルの上書き	する
パッシブモード	使わない
プロキシサーバー	

FTPサーバーに接続する設定で表示されます。FTPサーバーに関する設定を行います。

【公開画像の設定】 (p.64)

Smartphoneに接続する設定で表示されます。64ページを参照して設定してください。

IPsecについて

【TCP/IP】の【セキュリティー】で設定します。

インターネットで暗号化通信を行なうための規格で、無線／有線LAN共に有効なセキュリティー機能です。この機能を使うためには、パソコンのネットワーク設定でIPsec機能を有効にする必要があります。カメラのIPsecは、トランスポートモードのみのサポートで、暗号方式は「3DES」または「AES」、認証方式は「SHA-1」を使用しています。なお、設定画面の【接続先のアドレス】には、接続するパソコンのIPアドレスを設定してください。

転送先フォルダの階層について

〔FTPサーバー〕の〔転送先フォルダの階層〕で設定します。

〔カメラ〕を選択すると、転送先のルートフォルダ内に、カメラと同じ「A/DCIM/100EOS1D」というようなフォルダ階層を自動作成して、その中に画像を保存します。なお、〔転送先フォルダ〕の設定でルートフォルダの下にフォルダを作成しているときは、そのフォルダの中に「A/DCIM/100EOS1D」というようなフォルダ階層を自動作成して、その中に画像を保存します。

〔初期設定〕を選択すると、転送先のルートフォルダを開いたところに画像を保存します。なお、〔転送先フォルダ〕の設定でルートフォルダの下にフォルダを作成しているときは、そのフォルダの中に画像を保存します。

同名ファイルの上書きについて

〔FTPサーバー〕の〔同名ファイルの上書き〕で設定します。

〔同名ファイルの上書き〕を〔しない〕に設定している場合

FTPサーバーの保存先フォルダに同名ファイルが存在する場合は、ファイル名の最後にアンダーバー付きの数字（例：IMG_0003_1.JPG）が付けられて保存されます。

転送失敗画像を再転送する場合

同名ファイルの上書きをする設定で、転送失敗画像を再転送すると、上書き保存されない場合があります。この場合は、ファイル名の最後にアンダーバー付きのアルファベットと数字（例：IMG_0003_a1.JPG）が付けられて保存されます。

パッシブモードについて

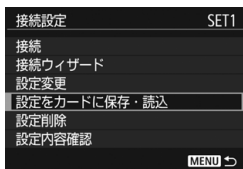
[FTPサーバー] の [パッシブモード] で設定します。

ネットワーク環境の中にファイアウォールが設置されているときに設定します。「エラー 41 : FTPサーバーに接続できません」という状態のときに、パッシブモードを [使う] 設定にすると、FTPサーバーに接続できることがあります。

設定内容の保存と読み込み

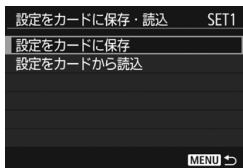
接続設定をカードに保存して、ほかのカメラに適用することができます。また、ほかのカメラで設定した接続設定を、使用するカメラに適用することができます。

設定内容を保存する



1 【設定をカードに保存・読み込み】を選ぶ

- 77ページの手順5で表示した【接続設定】画面で【設定をカードに保存・読み込み】を選びます。



2 【設定をカードに保存】を選ぶ

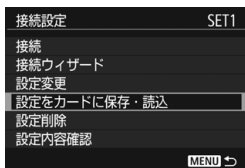


3 【OK】を選ぶ

- ファイル名は、WFTNPF01～99.NIFまでカメラが自動的に設定します。【INFO】ボタンを押すと、ファイル名を任意に設定することができます。
- ➔ カードに設定内容が保存されます。
- 設定内容のファイルは、カードを開いたところ（ルートディレクトリ上）に保存されます。

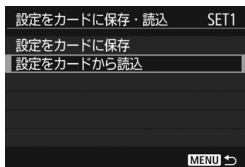
1つのカードにカメラで保存できる設定内容のファイルは、40個までです。41個以上カードに保存する場合は、別のカードに保存してください。

設定内容を読み込む



1 【設定をカードに保存・読込】を選ぶ

- 77ページの手順5で表示した【接続設定】画面で【設定をカードに保存・読込】を選びます。



2 【設定をカードから読込】を選ぶ



3 設定ファイルを選ぶ

- ➔ 使用するネットワーク環境に合った設定ファイルを選びます。



4 【OK】を選ぶ

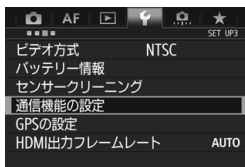
- ➔ 選択しているセット番号に、設定ファイルの内容が読み込まれます。

❶ パソコンなどで、カードに設定内容のファイルを41個以上保存しても、カメラの読み込み画面では40個までしか表示できません。41個以上読み込む場合は、先に読み込んだ設定内容のファイルが入っていないカードを使用して、残りの設定内容のファイルを読み込んでください。

機能設定画面について

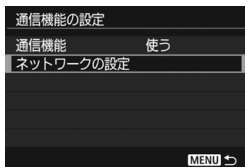
【機能設定】画面ではFTP転送やWFTserverの設定、節電機能の設定、MACアドレスの確認を行うことができます。

機能設定画面を表示する



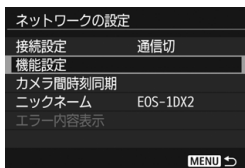
1 【通信機能の設定】を選ぶ

- [手] タブの【通信機能の設定】を選びく(SET)を押します。



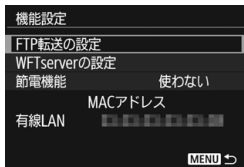
2 【ネットワークの設定】を選ぶ

- 【通信機能】を【使う】に設定したあとで、【ネットワークの設定】を選びます。

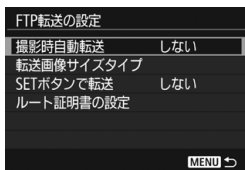


3 【機能設定】を選ぶ

- 【機能設定】画面が表示されます。

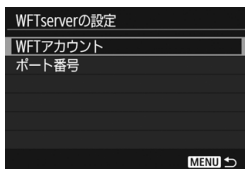


【FTP転送の設定】



FTP転送に関する設定を行います。21ページを参照して設定してください。

【WFTserverの設定】



WFTserverに関する設定を行います。WFTアカウントのほかにポート番号の設定を行うことができます。

- WFT アカウントの設定方法は 44 ページを参照してください。
- 通常、ポート番号 (80) の変更は必要ありません。

【節電機能】

● FTP転送

【使う】に設定したときは、一定期間転送を行わないと、FTPサーバーからログオフしてLANを休止します。画像転送が行われる状態になると、自動的に再接続します。

● EOSUtility/WFTserver/Smartphone

【使う】に設定したときは、一定期間通信を行わないと、通信速度を落として節電します。

【MACアドレス】

カメラのMACアドレスを確認することができます。【有線LAN】に表示されているのがカメラのMACアドレスです。

9

トラブルシューティング

エラー表示の対応

カメラの液晶モニターに有線LANに関するエラーが表示されたときは、この章の対応例を参考にしてエラーの原因を取り除いてください。エラー発生時は、カメラの〈LAN〉ランプが赤色に点滅します。なお、エラー内容は、[▼3] タブの [通信機能の設定] → [ネットワークの設定] → [エラー内容表示] でも確認できます。

11 (p.89)	12 (p.89)			
21 (p.89)	22 (p.91)	23 (p.92)	24 (p.92)	
41 (p.94)	42 (p.96)	43 (p.96)	44 (p.96)	45 (p.97)
46 (p.98)	47 (p.98)			
73 (p.99)				
81 (p.99)				
91 (p.99)				

【再転送待機中...】が表示されたときは



FTP転送で撮影後の画像転送に失敗すると、左図の画面が表示されて、カメラの〈LAN〉ランプが赤色に点滅します。エラー番号を確認し、エラーの原因を取り除いてください。

エラーの原因が取り除かれると、転送に失敗した画像が自動的に再転送されます。

なお、転送をキャンセルしたり、カメラの電源を切った時は、自動再転送されません。32ページを参照して転送してください。

11：接続先が見つかりません

- [EOSUtility] の場合、EOS Utilityは起動していますか？
➔ EOS Utilityを起動して、再度接続操作を行ってください (p.40)。
- [Smartphone] の場合、Camera Connectは起動していますか？
➔ Camera Connectから接続操作を行ってください (p.60)。

12：接続先が見つかりません

- 接続先の機器やアクセスポイントの電源は入っていますか？
➔ 接続先の機器やアクセスポイントの電源を入れて、しばらくお待ちください。それでも接続できないときは、再度接続操作を行ってください。

21：DHCP サーバーからアドレスが割り当てられていません

カメラの確認内容

- カメラの設定がIPアドレス [自動設定] になっています。この設定で間違いありませんか？
➔ DHCPサーバーを使用していない場合は、カメラをIPアドレス [手動設定] にして設定を行ってください (p.106)。

DHCPサーバーの確認内容

- DHCPサーバーの電源は入っていますか？
 - ➔ DHCPサーバーの電源を入れてください。
- DHCPサーバーから割り当てられるアドレスに余裕はありますか？
 - ➔ DHCPサーバーが割り振るアドレスを増やしてください。
 - ➔ DHCPサーバーからアドレスが割り振られている端末を、ネットワークから外して減らしてください。
- DHCPサーバーは正常に機能していますか？
 - ➔ DHCPサーバーの設定を確認して、DHCPサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
 - ➔ ネットワーク管理者がいるときは、DHCPサーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

ネットワーク全体の確認内容

- 接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？
 - ➔ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容をカメラに設定してください(p.101、106)。
 - ➔ カメラを含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

22：DNS サーバーから応答がありません

カメラの確認内容

- カメラの設定がDNSアドレス [手動設定] になっています。この設定で間違いありませんか？
 - ➔ DNSサーバーを使用していない場合は、カメラをDNSアドレス [使わない] の設定にしてください (p.106)。
- カメラに設定している DNS サーバーの IP アドレスは合っていますか？
 - ➔ 使用するDNSサーバーと同じIPアドレスをカメラに設定してください (p.101、106)。

DNSサーバーの確認内容

- DNSサーバーの電源は入っていますか？
 - ➔ DNSサーバーの電源を入れてください。
- DNSサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定していますか？
 - ➔ DNSサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定してください。
- DNSサーバーは正常に機能していますか？
 - ➔ DNSサーバーの設定を確認して、DNSサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
 - ➔ ネットワーク管理者がいるときは、DNSサーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

ネットワーク全体の確認内容

- 接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？
 - ➔ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容をカメラに設定してください (p.101、106)。
 - ➔ カメラを含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

23： IP アドレスが重複しています

カメラの確認内容

- カメラと同じネットワークに接続している機器が、カメラと同じ IP アドレスを使用していませんか？
 - ➔ カメラの IP アドレスを変更して、同じネットワークに接続している機器と IP アドレスが重複しないようにしてください。または、IP アドレスが重複している他の機器の IP アドレスを変更してください。
 - ➔ DHCP サーバーを使用するネットワーク環境で、カメラが IP アドレス [手動設定] の設定になっているときは、IP アドレス [自動設定] の設定にしてください (p.18)。

24： プロキシサーバーから応答がありません

カメラの確認内容

- カメラの設定がプロキシサーバー [使う] の設定になっています。この設定で間違いありませんか？
 - ➔ プロキシサーバーを使用していない場合は、プロキシサーバー [使わない] の設定にしてください (p.23)。
- カメラに設定しているプロキシサーバーの [アドレスの設定] と [ポート番号] は、プロキシサーバーと同じ設定になっていますか？
 - ➔ プロキシサーバーと同じアドレス、ポート番号をカメラに設定してください (p.23)。
- カメラのプロキシサーバーの設定内容は、DNS サーバーに正しく設定されていますか？
 - ➔ 設定したプロキシサーバーの [アドレス] が、DNS サーバーに正しく設定されているか確認してください。

プロキシサーバーの確認内容

- **プロキシサーバーの電源は入っていますか？**
 - ➔ プロキシサーバーの電源を入れてください。
- **プロキシサーバーは正常に機能していますか？**
 - ➔ プロキシサーバーの設定を確認して、プロキシサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
 - ➔ ネットワーク管理者がいるときは、プロキシサーバーのアドレスの設定とポート番号を聞いて、その内容をカメラに設定してください。

ネットワーク全体の確認内容

- **接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？**
 - ➔ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容をカメラに設定してください。
 - ➔ カメラを含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

41：FTP サーバーに接続できません

カメラの確認内容

- カメラに設定しているFTPサーバーのIPアドレスは合っていますか？
→ FTPサーバーと同じIPアドレスをカメラに設定してください (p.22)。
- カメラに設定しているFTPサーバー [ポート番号設定] は、FTPサーバーで設定しているポート番号と合っていますか？
→ ポート番号は通常21で、カメラとFTPサーバーとも同じポート番号を設定します。FTPサーバーのポート番号をカメラに設定してください (p.23)。
- カメラのFTPサーバーの設定内容は、DNSサーバーに正しく設定されていますか？
→ 設定したFTPサーバーの [サーバー名] が、DNSサーバーに正しく設定されているか確認してください。また、使用するFTPサーバーの [サーバー名] が、カメラに間違いなく設定されているか確認してください (p.22)。

FTPサーバーの確認内容

- **FTPサーバーは正常に機能していますか？**
 - ➔ パソコンをFTPサーバーとして機能するよう設定してください。
 - ➔ ネットワーク管理者がいるときは、FTPサーバーのアドレスとポート番号を聞いて、その内容をカメラに設定してください。
- **FTPサーバーの電源は入っていますか？**
 - ➔ FTPサーバーの電源を入れてください。省電力モードで電源が切れている可能性もあります。
- **FTPサーバーに設定しているIPアドレスは、カメラに設定しているFTPサーバーの【アドレス】と合っていますか？**
 - ➔ FTPサーバーに設定しているIPアドレスと、カメラに設定しているFTPサーバーのIPアドレスを、同じ設定にしてください (p.22)。
- **セキュリティソフトウェアのファイアウォールを有効にしていますか？**
 - ➔ セキュリティソフトウェアによっては、ファイアウォールでFTPサーバーへの接続制限をかけている可能性があります。ファイアウォールの設定を変更して、FTPサーバーに接続できるようにしてください。
 - ➔ カメラの設定で【パッシブモード】を【使う】にすると、FTPサーバーに接続できる場合があります (p.81)。
- **ブロードバンドルーターを介してFTPサーバーに接続していませんか？**
 - ➔ ブロードバンドルーターによっては、ファイアウォールでFTPサーバーへの接続制限をかけている可能性があります。ファイアウォールの設定を変更して、FTPサーバーに接続できるようにしてください。
 - ➔ カメラの設定で【パッシブモード】を【使う】にすると、FTPサーバーに接続できる場合があります (p.81)。

ネットワーク全体の確認内容

- 接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？
- ➔ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容をカメラに設定してください(p.101、106)。
- ➔ カメラを含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

42：FTP サーバーから接続を拒否されました

FTPサーバーの確認内容

- FTPサーバーが、特定のIPアドレスのみ接続を許可する設定になっていませんか？
- ➔ FTPサーバーの設定を変更して、カメラに設定しているTCP/IPの [IP アドレス] で接続できるようにしてください。

43：FTP サーバーに接続できません。サーバーからのリプライコードがエラーを示しています。

FTPサーバーの確認内容

- FTPサーバーで設定している最大接続数を超えて接続していませんか？
- ➔ FTPサーバーに接続しているネットワーク機器を少なくするか、FTPサーバーの設定で最大接続数を増やしてください。

44：FTP サーバーから切断できません。サーバーからのリプライコードがエラーを示しています。

- FTPサーバーに対する接続解除が、何らかの理由でうまくいかないときに表示されるエラーです。
- ➔ FTPサーバーとカメラの電源を入れなおしてください。

45：FTP サーバーにログオンできません。サーバーからのリプライコードがエラーを示しています。

カメラの確認内容

- **カメラに設定している【ログオン名】は正しいですか？**
 - ➔ FTPサーバーにログオンするログオン名を確認してください。また、大文字、小文字の使い分けも確認して、正しいログオン名をカメラに設定してください (p.23)。
- **カメラに設定している【ログオン・パスワード】は正しいですか？**
 - ➔ FTPサーバーにログオン・パスワードが設定されているときは、大文字、小文字の使い分けも確認して、正しいログオン・パスワードをカメラに設定してください (p.23)。

FTPサーバーの確認内容

- **FTPサーバーのファイルアクセス権は、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定になっていますか？**
 - ➔ FTPサーバーのファイルアクセス権を、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定にしてください。
- **FTPサーバーで転送先に指定されているフォルダの名称は、すべてASCII文字 (p.15) で構成されていますか？**
 - ➔ フォルダ名をASCII文字で構成してください。

46： データセッションに対し、FTP サーバーからのリプライコードがエラーを示しています

FTPサーバーの確認内容

- FTPサーバーが接続を切断しました。
→ FTPサーバーを再起動してください。
- FTPサーバーのファイルアクセス権は、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定になっていますか？
→ FTPサーバーのファイルアクセス権を、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定にしてください。
- FTPサーバーの保存先フォルダにアクセス権を設定していませんか？
→ カメラから転送された画像が保存できるよう、FTPサーバーにある保存先フォルダのアクセス権を設定してください。
- FTPサーバーの電源は入っていますか？
→ FTPサーバーの電源を入れてください。省電力モードで電源が切れている可能性もあります。
- FTPサーバーのハードディスクがいっぱいになっていませんか？
→ ハードディスクの空き容量を増やしてください。

47： FTP サーバーから、画像ファイルの転送完了通知を取得できませんでした

- FTPサーバーからの転送完了通知を、何らかの理由で受けられなかったときに表示されるエラーです。
→ FTPサーバーとカメラの電源を入れなおし、画像を再度転送してください。

73：時刻の同期に失敗しました

- マスターカメラとスレーブカメラの接続操作を正しく行っていますか？
- ➔ 正しい手順でマスターカメラとスレーブカメラを操作してください (p.68~70)。
- マスターカメラとスレーブカメラが離れすぎていませんか？
- ➔ マスターカメラとスレーブカメラを近付けてください。

81：有線 LAN の接続が切れました

- LANケーブルはしっかり接続されていますか？
- ➔ カメラからサーバーにかけてのLANケーブルを接続しなおしてください。また、ケーブルが断線している可能性もありますので、別のケーブルを接続してみてください。
- ハブやルーターの電源は入っていますか？
- ➔ ハブやルーターの電源を入れてください。
- サーバーの電源は入っていますか？
- ➔ サーバーの電源を入れてください。省電力モードで電源が切れている可能性もあります。



91：その他のエラー

- エラー 11~81以外の異常が発生しました。
- ➔ カメラの電源スイッチを入れ直してください。

故障かな？と思ったら

「故障したのかな？」と思ったら、下記の例を参考にしてカメラや接続した機器をチェックしてください。なお、チェックしても状態が改善しないときは、別紙の修理お問合せ専用窓口にご相談ください。

FTPサーバーに画像の転送ができない

- 撮影後にFTPサーバーへ画像を転送するときは、ライブビュー撮影／動画撮影スイッチを〈〉にしてください。
ライブビュー撮影／動画撮影スイッチが〈〉のときは、画像を転送できません。

スマートフォンに再接続できない

- 同じカメラとスマートフォンの組み合わせでも、設定を変更したり、異なる設定を選んでいるときは、同じSSIDを選んでも再接続できなくなることがあります。そのときは、スマートフォンのWi-Fi設定で、カメラとの接続設定を削除してから、接続設定をやり直してください。
- 接続設定をやり直すときに、Camera Connectを起動したままにしていると、接続できないことがあります。そのときは、Camera Connectを再起動してください。

ネットワークの設定を確認する

● Windowsの場合

Windowsの[コマンドプロンプト]を開き、ipconfig /allと入力して〈Enter〉キーを押します。

パソコンに割り当てられているIPアドレスのほかに、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバーの情報が表示されます。

● Mac OSの場合

Mac OS Xの[ターミナル]を開き、ifconfig -aと入力して〈Return〉キーを押します。[en0] 項目 [inet] の ***.***.***.*** がパソコンに割り当てられているIPアドレスです。

*[ターミナル] については、Mac OS Xのヘルプを参照してください。

なお、106ページでカメラに割り当てるIPアドレスを設定するときは、パソコンやほかのネットワーク接続機器とIPアドレスが重複しないよう、一番右側の数字を変えて設定します。

例) 192.168.1.10

セキュリティについて

セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

● ネットワークへの不正アクセス

悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、ネットワークのセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。

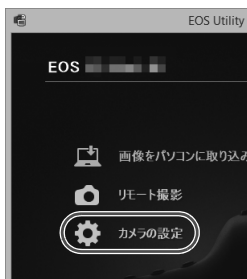
10

資料

キャプションの作成と登録

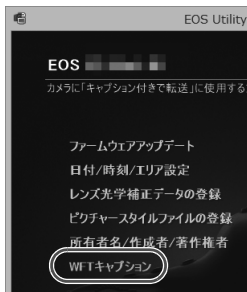
「キャプション付きで転送する」(p.36)のページで説明した、キャプションを作成してカメラに設定します。キャプションの作成と登録は、EOS Utilityがインストールされたパソコンを使用して行います。

39ページからの「EOS Utilityでリモート操作」を参照して、LAN接続でEOS Utilityが使えるようにしておいてください。



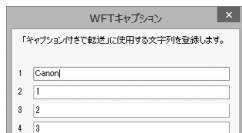
1 EOS Utilityを起動して【カメラの設定】を選ぶ

→ カメラの設定画面が表示されます。



2 【WFTキャプション】を選ぶ

→ キャプション作成画面が表示されます。



3 キャプションを入力する

- ASCII（アスキー）文字を 31 文字まで入力できます。
- **「設定取得」** を選ぶと、カメラに設定されているキャプションデータを取得します。

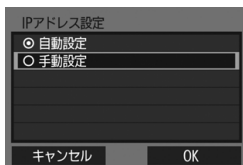


4 キャプションをカメラに設定する

- **「カメラに登録」** を選ぶと、作成したキャプションがカメラに設定されます。

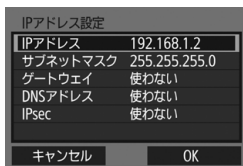
IPアドレスを手動で設定する場合

IPアドレス設定を手動で行います。なお、表示される項目は通信方法によって異なります。



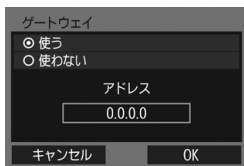
1 [手動設定] を選ぶ

- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



2 設定する項目を選ぶ

- 項目を選んで〈SET〉を押すと、数値の入力画面が表示されます。
- ゲートウェイ、DNS アドレス、IPsec を使う場合は、[使う] を選んでから [アドレス] を選び、〈SET〉を押します。



3 数値を入力する

- 〈MENU〉を回して上側の入力場所を選び、〈OK〉を回して入力する数値を選びます。〈SET〉を押すと選んだ数値が入力されます。
- 〈MENU〉ボタンを押すと、入力を確定して手順2の画面に戻ります。

IPアドレス設定	
IPアドレス	192.168.1.3
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	使わない
DNSアドレス	162.168.11.1
IPsec	使わない
キャンセル	
OK	

4 [OK] を選ぶ

- 必要な項目の設定が完了したら [OK] を選び、〈**SET**〉を押します。
- ➔ 通信方法に応じた設定画面が表示されます。
- 設定する内容が分からない場合は、『ネットワークの設定を確認する』(p.101) を参照するか、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方に問い合わせてください。

有線LANの主な仕様

■ 有線LAN

Ethernet.....1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T
セキュリティ.....IPsec

■ LAN機能

FTP転送.....撮影時自動転送
画像選択/転送
SETボタンで転送
キャプション付きで転送
* FTPS対応

EOS Utility.....EOS Utilityのリモートコントロール機能を有線LANで実現

WFTサーバー.....詳細撮影/簡易撮影
画像の閲覧/取り込み

スマートフォン.....スマートフォンで画像の閲覧/操作/受信
スマートフォンでカメラをリモートコントロール

カメラ間時刻同期.....マスターカメラの時刻を10台のスレーブカメラに設定可能
マスターカメラとの設定誤差±約0.05秒
* カメラ間時刻同期は、必ず同じ機種のカメラ同士で行う

■ 撮影可能枚数の目安

【撮影時自動転送】時の撮影可能枚数の目安 (約・枚)

温度	常温 (+23°C)	低温 (0°C)
撮影可能枚数	1050	900

* フル充電のバッテリーパック LP-E19使用、[節電機能：使う] 設定時、CIPA（カメラ映像機器工業会）の試験基準による

● 記載データはすべて当社試験基準、またはCIPA試験基準/ガイドラインによります。

商標について

- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- UPnPは、UPnP Implementers Corporationの商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

索引

英数字

1枚ずつ転送	27
Camera Connect	11, 62
DHCPサーバー	18
DNSアドレス	106
DNSサーバー	101
EOS Utility	10, 39, 42
FTPS	22
FTPサーバー	21
FTP転送	9, 21
FTPモード	22
IPsec	79
IPアドレス	18, 106
JPEG	30
MACアドレス	40, 86
RAW	30
RAW+JPEG	30
SETボタンで転送	29
Smartphone	11, 59
TCP/IP	78
URL	47
Webブラウザ	10, 47
WFTserver	10, 43
WFTサーバー	10, 43

あ

アカウント	44, 85
一括転送	32
エラー	88
オートパワーオフ	16

か

画像転送	21
画像を閲覧	49, 62
カメラ間時刻同期	11, 67

簡易撮影	56
キーボード	15
機能設定	84
キャプション	36, 104
ゲートウェイ	106
公開画像の設定	64

さ

再接続	73
再転送	31
撮影可能枚数	108
撮影後に転送	32
サブネットマスク	101, 106
自動転送	27
詳細撮影	51
スマートフォン	59
スレーブカメラ	69
接続ウィザード	16
設定内容	82
保存	82
読み込み	83

た

転送先フォルダ	37, 80
転送された画像	37
転送履歴	33
動画	50, 55, 57
同名ファイル	80
トラブルシューティング	87

な

ニックネーム	13
認証方式	79
ネットワーク	7

は

パスワード	44
パッシブモード	81
フォルダ	24, 37
フォルダ指定	24
ブラウザ	10, 47
プロキシサーバー	23
ペアリング	40
ポート番号	23
保存先	24, 37

ま

マスターカメラ	69
まとめて転送	32

や

有線LAN	17
-------	----

ら

リモート撮影	42, 51, 56, 62
ルーター	8, 18
ログオン方法	23
ログオン名	44



キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品情報や取り扱い方法に関するご相談窓口

製品に関する情報や、よくあるお問い合わせなどのサポート情報を掲載しています。
インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

EOS ホームページ : canon.jp/eos

EOS・サポートナビ : canon.jp/eos-navi

電話でのお問い合わせは、以下へお願いします。

お客様相談センター（全国共通番号）
050-555-90002

受付時間：9：00～18：00
（1月1日～1月3日は休ませていただきます）

- ※ おかけ間違いのないようご注意ください。
- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556 をご利用ください。
- ※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙の修理お問合せ専用窓口にお問い合わせください。

本書の記載内容は 2016 年 6 月現在のものです。それ以降に発売された製品との組み合わせにつきましては、上記のお客様相談センターにお問い合わせください。なお、最新の使用説明書については、キヤノンのホームページをご覧ください。